

文教速報

= 隔日刊 月・水・金 =
(但し 祭日休刊)
月額:7,020円
(うち消費税 520円)

官庁通信社
〒101-0041
東京都千代田区
神田須田町 2-13-14
総務部
(03)3251-5751
FAX 5753
編集部
(03)3251-5755
FAX 5753
E-mail:bunkyo@
kancho-t.com

令和4年9月7日(水曜日) 第9166号

国民からの信頼回復へ全力 柳孝第14代文科次官が就任挨拶

- ◎ 弘前大が2企業と講座開設……………4
- ◎ 健康寿命延伸・Bウエルネス……………4
- ◎ 埼玉大がさいたま市と締結……………5
- ◎ 創立115周年・総合大百周年……………6
- ◎ 東北大が記念フォーラムを開催……………6
- ◎ おかやま夢育イニシアチブ……………7
- ◎ 岡山大がスタートアップイベント……………7
- ◎ 広島大が原爆の日に平和企画……………9
- ◎ 愛媛大がサイクリング事業……………10
- ◎ 大教大がオープンキャンパス……………11
- ◎ 福井大で高校生が医学体験……………11
- ◎ 宮崎大がまちなかカレッジ……………12
- ◎ 北陸先端大が辰口まつりに参加……………13
- ◎ 鹿体大が学長杯ヨットレース……………13
- ◎ 滋賀大漕艇部が優勝……………14
- ◎ 米子高専・鈴鹿高専……………15
- ◎ 日高自然の家で野あそび匠塾……………15
- ◎ 9月1日人事……………16
- ◎ 国研・横国大・上教大・愛教大……………17
- ◎ ※豊橋技大・徳島大・北陸先端大……………18
- ◎ ※SPARC6事業を選定……………18
- ◎ 青少年500人招へい……………19
- ◎ 日本アフリカ大学交流会議で宣言……………19
- ◎ 学士院が10月に公開講演会……………19
- ◎ 今日の話……………19
- ◎ ウクライナ情勢で1割が寄附経験……………16

社会主義と戦争の記憶 東京外大がキューバ映画上映会



左から司会の濱氏、新谷さん、イレーネグティエレス監督



解説する新谷さん

東京外国語大学はこのほど同大アゴラ・グローバル内プロメテウス・ホールで、TUFFS Cinema社会主義と戦争の記憶…キューバ映画『犬と狼のあいだで』上映会を開催した。冒頭に、同大の久野量一教授と慶應義塾大学の越野剛准教授から趣旨説明が行われ、本編全編が上映された。

上映作品は、かつてアンゴラ内戦に派遣された3人の元兵士がキューバのジャングルを彷徨い、戦争の記憶と向きあう姿を記録した、ドキュメンタリー/フィクション。

本編上映後、博士後期課程3年の新谷和輝さんが解説。また、イレーネ・グティエレス監督(オンライン参加)、司会の濱治佳氏(山形国際ドキュメンタリー映画祭事務局)も交えたトークを行い、越境する社会主義の理想と戦争の関係、その記憶をいかに表象できるかについて議論を深めた。



被爆樹木を素材とした楽器によるミニコンサート

唱したという逸話がある曲を弦楽四重奏で演奏した。演奏前には、被爆直後、留学生と一緒にキャンパスで避難生活をした栗原明子氏の被爆体験動画が上映され、当時の合唱の様子が語られた。これらのバイオリン、チェロ、ビオラは、今後、さまざまな機会に多くの人々に聞いてもらい、音色を聴く多くの人々と平和への思いを共有する予定。

愛媛大が国際交流型リーダーシップ研修 環四国サイクリングプロジェクトを実施 SDGsビーチクリーンアクションも

愛媛大学は8月6日から10日、国際交流型リーダーシップ研修「環四国サイクリングプロジェクト」(香川うどん・小豆島編)を実施した。

同プロジェクトは、今年で5年目を迎え、日本と台湾の学生がともに「自転車」というコンテンツを用いて地域の歴史・文化等に触れるフィールドワークを行い、日台間の異同等に目を向けつつ、実社会で有用となるグローバルな感覚や、協働を促進するコミュニケーション・リーダーシップのあり方について実践的に学ぶことを目的としている。さらに、産学官連携事業として、愛媛県が推進する「自転車新文化」を両国の学生たちが広く発信することも目的の一つに掲げている。

今年も、愛媛大と国立高雄科技大学(台湾)の学生が、2年ぶりに対面して開催した。サイクリング当日の参加者同士の対面での交流がさらに深くなるように、事前にオンラインでの国際交流を2回(7月8日、22日)実施。オンラインでの国際交流では、日台混合チームでの自己紹介や両国の文化を紹介し合うとともに、サイクリングで走行するルートを検討した。

対面での香川うどん・小豆島サイクリングでは、参加者が日台混合4チーム(1チームあたり6〜7名)に分かれ、小豆島島内(中山千枚田、二十四の瞳映画村、オリーブ公園、オリーブビーチ、エンジェルロード、寒霞溪など)を自転車で行き、総走行距離80kmを一人も脱落することなく完走証書が授与された。

また、今回初めてビーチクリーンをはじめとするクリーン活動を実施した。具体的には、コース途中では、休憩時に道に落ちていたごみを拾い、コースに含まれるオリーブビーチとエンジェルロードでは、全チームが協力してビーチクリーンにも取り組んだ。

小豆島内サイクリング



エンジェルロードサイクリング参加者

また、「日台の新技术の開発や成長に触れ、より国際的な技術者や研究者になりたい」と思った「これからは愛媛大学やいろいろな日台交流の活動に参加して、いつか日本と台湾の架け橋になれるように頑張りたい」といった抱負が発表され、それぞれに意味のある成果があったことを共有することができた。

また終了後も、高雄科技大学生らと、SNS上で写真のやり取りを行うなどの継続した交流が行われ、来年の夏には、徳島・鳴門・祖谷・阿波踊りサイクリングプロジェクト(仮)で会うことを約束し散会した。